⑥　温泉下林地区　復興まちづくり計画

対象地域	下林町、中林町、温泉町

温泉下林地区は、球磨川・万江川や小河川による浸水の危険性に備えて、「早めの避難」など避難方法の見直しや地区内での緊急避難場所の確保、コミュニティの核となる集える場の再生等の取組を中心に、復興まちづくりを進めます。

（１）地区の復興まちづくりに向けた主な課題

取組の柱①　被災者のくらし再建とコミュニティの再生

住まいの再建

□まちづくりの方向性を踏まえた住まいの再建方策の検討

〇暮らしを安定させるための住まいの再建や、まちづくりと連携した住まいの安全性を高める方策の検討が必要です。

地区別懇談会での主な意見
・再建の目途が立たないと避難の対策等の話ができない。
・住まいを再建したが、まちづくりにどう係わるのか。
・地形的に低く、嵩上げなど抜本的な対策をしないと水害による被害はなくならない。

コミュニティの再生

□集会所の再建とコミュニティの再生

〇地域コミュニティ維持のため、集会所の早期復旧が急がれます。
〇地域活動の再開により、地域のつながりを再構築していく必要があります。

地区別懇談会での主な意見
・仮設住宅に入居している人も、祭りに参加すれば元気になれると思う。
【温泉町】
・温泉があれば人が集い、地域コミュニティが維持できる。
【下林町・中林町】
・直売所の運営により顔が見える関係性を構築してきたが、運営主体が高齢化しており、今後は助け合いながら運営を継続したい。
・公民館以外にもコミュニティの場として、町内会対抗スポーツ大会やお祭りなどの行事が多くある。

取組の柱②　力強い地域経済の再生

なりわいの再建

□地域の温泉と観光の再生

○地域の観光資源である温泉の再生を通して、なりわいやまちの復興につなげることが求められています。

地区別懇談会での主な意見

【温泉町】

・温泉を活かしたまちの復興が必要。
・行政だけでなく、地元も動かなければならない。
・泉源は相良の殿様が入った由緒ある「温泉町の温泉」。

□早急な農地の再生

○被災の影響や農業従事者の高齢化等により営農の継続に支障が出ており、農地の再生や維持への支援や方策が必要です。

取組の柱③　災害に負けないまちづくり

避難対策

□安全な避難ルートの確保

○地区内には幅員の狭い道があり、避難所までの避難路が不足することから、安全な避難ルートの確保が必要です。

地区別懇談会での主な意見

・老人福祉センター付近の道が狭く離合できない。
・スポーツパレスから村山公園までの避難路が必要。
・高齢者の短時間での避難や、万江川の橋を渡る避難は難しい。

□避難施設の確保・改善

○浸水深が深いため、避難タワー等の緊急時に垂直避難できる場所の確保が必要です。併せて、自家用車を避難させることができる場所の確保も必要です。

○避難所において、食料等の備蓄の確保や正確な情報を入手するための情報伝達が必要です。

□情報発信方法の改善

○避難の必要性を正確に伝達するため、情報発信方法の改善が必要です。

□避難時に機能する仕組み・体制の構築

〇高齢者等の要支援者の避難について、情報伝達や移動支援等を支援する仕組みや体制の構築が必要です。

地区別懇談会での主な意見
・要支援者のリスト共有が必要。
・夜間用の投光器や救助のためのボートがあるとよい。
【下林町・中林町】
・樋門係から住民への情報伝達の仕組みが必要。
・自主防災組織を十数年前に立ち上げたが、活動は活発でない。

治水・土砂災害対策

□小河川の氾濫等

〇出水川や福川の内水を排除するための施設の整備や、頭無川の雨水ポンプ場の耐水化等、小河川の氾濫対策が必要です。

□球磨川の治水対策

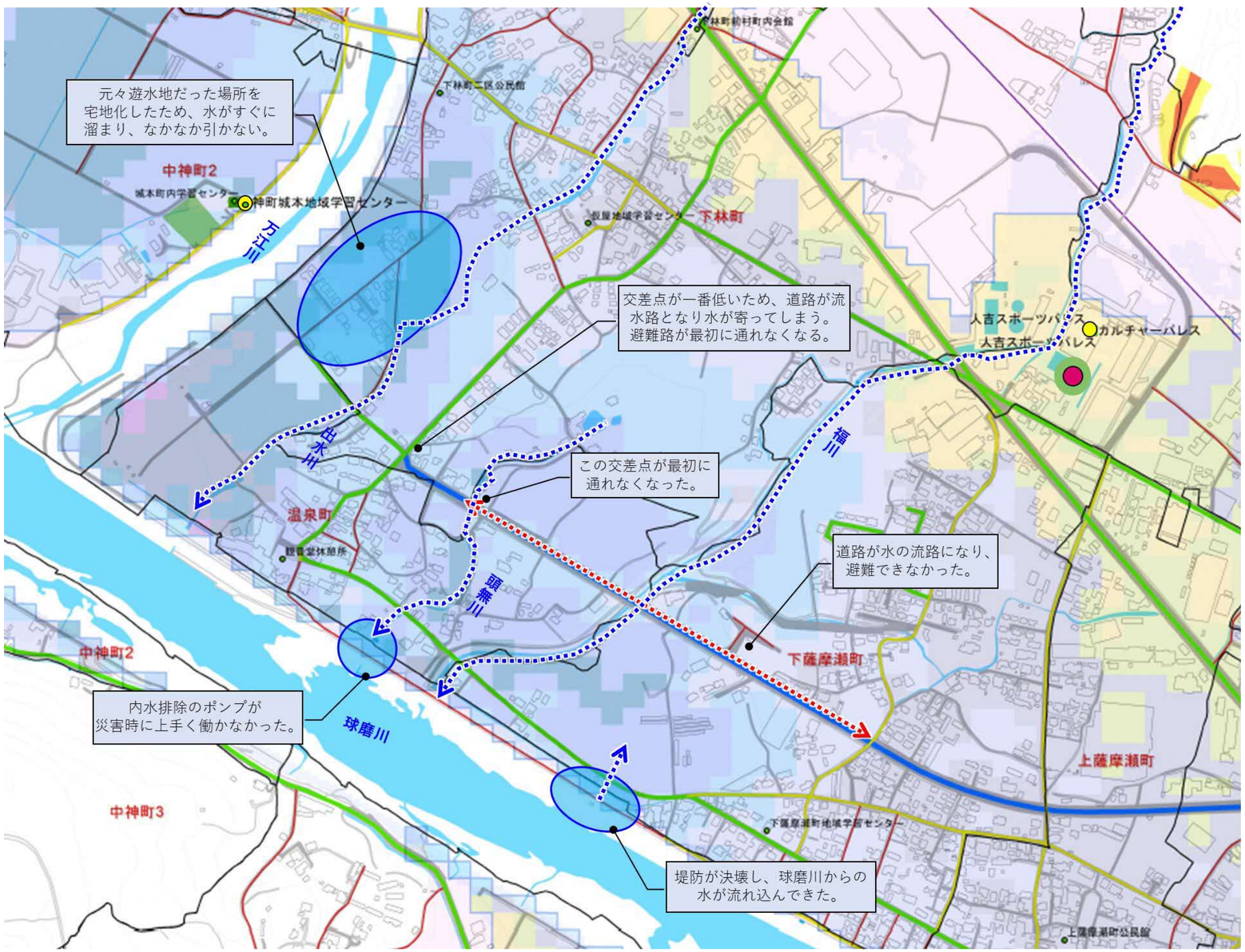
〇球磨川本川の治水対策により、水位の低下や氾濫対策を推進する必要があります。

復興まちづくり

□災害時等の活動拠点の確保

〇想定し得る災害の類型や規模を踏まえ、防災拠点等の在り方を検討する必要があります。

温泉･下林地区　現況　・　令和2年7月豪雨の被害　・　災害危険性



避難場所・避難所

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 福祉避難所
- （被災）自治公民館

道路幅員

- 15m以上
- 6m以上　15m未満
- 4m以上　6m未満
- 4m未満
- 都市公園
- 土地利用現況（道路用地のみ）
- 急傾斜地調査予定
- 土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）
- 土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

Ｒ２年７月豪雨　実績浸水深

- 0.5m未満の区域
- 0.5m以上　～　1.0m未満
- 1.0m以上　～　2.0m未満
- 2.0m以上　～　3.0m未満
- 3.0m以上　～　4.0m未満
- 4.0m以上　～　5.0m未満
- 5.0m以上　～　6.0m未満
- 6.0m以上　～　7.0m未満
- 7.0m以上　～　8.0m未満
- 8.0以上の区域

想定最大規模（Ｌ２）　浸水想定区域

（２）課題解決のための取組

【復興まちづくりの目標】

温泉町『川と共存し“温泉”を活かした助け合いで築くまちづくり』
下林町･中林町『住民が生き生きと住み続けるまちづくり』

地区の主な課題	取組方針	具体の取組
まちづくりの方向性を踏まえた住まいの再建方策の検討	住まいの再建における安全性の向上	安全性を高める建て方の誘導
集会所の再建コミュニティの再生	集会所の再建とコミュニティの強化	コミュニティの核としての集会所の再建【温泉町】
		地域活動の活性化【下林町・中林町】
地域の温泉と観光の再生	観光資源である”温泉”を活かしたまちづくり	観光資源としての温泉の復活【温泉町】
早急な農地の再生	農地の再生によるなりわいの再建	農地の再生、集約化
		田んぼダムの整備
安全な避難ルートの確保	避難路ネットワークの形成	安全な避難路の整備
避難施設の確保・改善	緊急時の避難場所の整備・確保	安全な避難場所の整備
		安全な避難場所の確保
		村山台地を活用した避難場所の確保
	避難所の機能や運営の見直し	避難所の備蓄の拡充
		避難所の運営方法の改善
情報発信方法の改善	適切な情報伝達手段の確保	防災情報の伝達機能の強化
避難時に機能する仕組み・体制の構築	全員が避難できる仕組みづくり	地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成
小河川の氾濫対策	小河川の氾濫対策の推進・促進	小河川の氾濫対策の推進・促進
球磨川本川の氾濫対策	流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下	流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下
		治水対策の進捗状況の見える化
災害時等の活動拠点の確保	災害時等の活動拠点となる施設機能の確保	災害時の施設機能のあり方検討

取組の柱①　被災者のくらし再建とコミュニティの再生

住まいの再建

取組方針１：住まい再建における安全性の向上

地区の特性を踏まえた住まい再建の方向性や安全性の向上の方策を検討します。

具体の取組
□安全性を高める建て方の誘導 ・建物のピロティ化、耐水化住宅の採用、地区内移転の検討等。 ・宅地と道路の一体的な嵩上げ。 ・個別の新築時に宅地を嵩上げ。 ・住宅再建に係る各種スキームの説明会の開催。

コミュニティの再生

取組方針２：集会所の再建とコミュニティの強化

コミュニティの核となる集会所の復旧･再整備や、地域活動の活性化によるコミュニティの再生に取り組みます。

具体の取組
□コミュニティの核としての集会所の再建【温泉町】 ・温泉とコミュニティ施設、避難所を一体化した施設として整備。 ・市が施設整備と維持管理を担い、地元が運営を担う形式の検討。 ・高さのある建物とし、集会所やお茶が飲めるような集客施設を整備。 ・観音堂裏の泉源※の再利用および集会所整備。　※泉源は利用可能か確認が必要 **□地域活動の活性化【下林町・中林町】** ・今後も様々な行事を継続していくことにより、町内のつながりを強化。 ・老人会の設立と新行事の計画及び実施により、コミュニティを強化。 ・地域行事に関連付けた自主防災組織の強化及び活動の活性化。

取組の柱②　力強い地域経済の再生

なりわいの再建

取組方針３：観光資源である”温泉”を活かしたまちづくり

温泉を地域内外の人々の交流の場として活用し、「温泉町の温泉」を地域の観光産業の活性化につなげる取組を推進します。

具体の取組
□観光資源としての温泉の復活【温泉町】 ・コミュニティ施設と合わせた温泉の再生。 ・温泉を交流の場および地域の観光産業として活用。 ・湯布院のような「観光のまちなみづくり」のモデル的な取組を推進。 ・散歩道の整備、翠嵐楼やその前の茶屋、休憩所で一休みできるような仕掛けづくり。

取組方針４：農地の再生によるなりわいの再建

農地の再生に向けて、営農の継続に必要な方策や農地の活用方策を検討・実施します。

具体の取組
□農地の再生、集約化 ・堆積土砂の除去。 ・営農意向のない農地の集約化。 **□田んぼダムの整備** ・都市計画道路下林柳瀬線より北側を対象に検討。

取組の柱③　災害に負けないまちづくり

避難対策

取組方針５：避難路ネットワークの形成

避難所までの安全な避難路を整備し、複数の安全なルートを確保する避難路ネットワークの形成を進めます。

具体の取組
□安全な避難路の整備 ・スポーツパレスから村山公園への避難路の新設･拡幅整備（踏切等）。 ・離合できる幅員の確保。水路には蓋をし、道路幅を広くする。 **【温泉町】** ・福川沿いの堤防道路の拡幅（自動車も通行可能な幅員）。

取組方針６：緊急時の避難場所の整備・確保

逃げ遅れによる被害を防ぐため、徒歩圏内に緊急避難場所を整備･指定します。また、民間施設等と協力し、人・車の安全な避難場所を確保します。

具体の取組
□安全な避難場所の整備 ・徒歩圏内に避難タワーや高台等の安全に避難できる施設を整備（駐車スペース、ヘリポートも確保)。 ・薩摩瀬地区の住民も使える場所として整備。 **【温泉町】** ・平常時にも利用できるよう高台を充実 （例）オートキャンプ場を設け利用料金を温泉町に入れる、距離を表示した周回トリムコースの設定など **□安全な避難場所の確保** ・地区内の安全な建物管理者との緊急避難場所利用に関わる覚書の締結。 ・スポーツパレス駐車場の透水性向上。 **【下林町、中林町】** ・自動車の避難場所の確保 （例）ニシムタ、直売所、西工作所、中原小学校等 **□村山台地を活用した避難場所の確保**

取組方針７：避難所の機能や運営の見直し

災害の教訓を踏まえ、避難所における機能や運営方法の見直しを行い、改善を図ります。

具体の取組
□避難所の備蓄の拡充 ・食料や生活用品等の備蓄の拡充。 **□避難所の運営方法の改善** ・避難所における情報提供等の運用改善。

取組方針８：適切な情報伝達手段の確保

緊急時に正しい情報を迅速に伝えるための情報伝達手段を確保します。

具体の取組
□防災情報の伝達機能の強化 ・各世帯への防災ラジオの配布（市より、令和３年６月から順次配布）。 ・避難の種類（土砂災害、水害等）や避難のタイミングがわかる設備（避難スイッチ）の整備。 ・リアルタイムで水位がわかるように、情報提供方法を改善。 **【温泉町】** ・避難指示が出たら、行き先が分かるように３・４軒のチームで行動。 ・皆が見えるように、翠嵐楼に避難スイッチになる設備を設置検討（要協議）。

取組方針９：全員が避難できる仕組みづくり

小河川の氾濫前後や避難にかかる時間を考慮し、早めの避難の実現や高齢者等の要支援者の避難行動を支援する仕組みや体制づくりに取り組みます。

具体の取組
□地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成 ・自主防災組織の強化、地区防災計画の策定に向けた勉強会の実施（より小さな町内単位での組織化、市の出前講座の活用等）。 ・地区防災計画の作成、助け合いのシステムの構築（要支援者の避難支援者を決める、連絡網の作成等）。 ・防災や早期避難の意識の醸成、マイ・タイムラインの作成等。 ・避難時の移動手段の検討。 ・避難訓練の実施。

治水・土砂災害対策

取組方針 10：小河川の氾濫対策の推進・促進

排水機場等の耐水化、放水路、低未利用地を利用した浸透･雨水貯留施設等の整備により内水対策を進め、被害の軽減や避難時間の確保を図ります。

具体の取組
□小河川の氾濫対策の推進・促進 ・排水機場等の耐水化、放水路、浸透･雨水貯留施設等の整備。 ・御溝川が合流する、福川の堤防嵩上げ。 ・頭無川の雨水ポンプ場の耐水化（実施中）。

取組方針 11：流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下

国・県と連携し、流域治水プロジェクトと連携したまちづくりに取り組みます。

具体の取組
□流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下 ・河川の浚渫、堤防の嵩上げや強化等。 **□治水対策の進捗状況の見える化** ・定期的に治水対策の進捗状況、水位の変化等の情報を発信。

取組方針 12：災害時等の活動拠点となる施設機能の確保

国・県等と連携し、施設機能のあり方検討に取り組みます。

具体の取組
□災害時の施設機能のあり方検討

温泉下林地区　復興まちづくり計画　【地区整備方針・避難ルート図】

緊急避難場所整備
避難路沿いで、2方向避難の分岐近くに、逃げ遅れた際に逃げ込める想定最大規模以上の避難タワーを整備(情緒ある温泉町には、機械やロボットのようなタワーは合わない)。

避難路整備
早めの多方向避難が可能となるよう避難路となる道路の拡幅・嵩上げ。

都市計画道路下林柳瀬線（起点）

コミュニティ施設（温泉施設、集会所）
既存施設を再生し、由緒ある温泉を活かした交流の場を設けるとともに、集会所・駐車場を整備。

小河川の整備、排水機場整備、耐水化
小河川の雑草や堆積土砂等を定期的に撤去し、清らかな水辺環境を維持するとともに、各小河川の排水機場の整備(出水川、福川)・耐水化(頭無川)を促進。

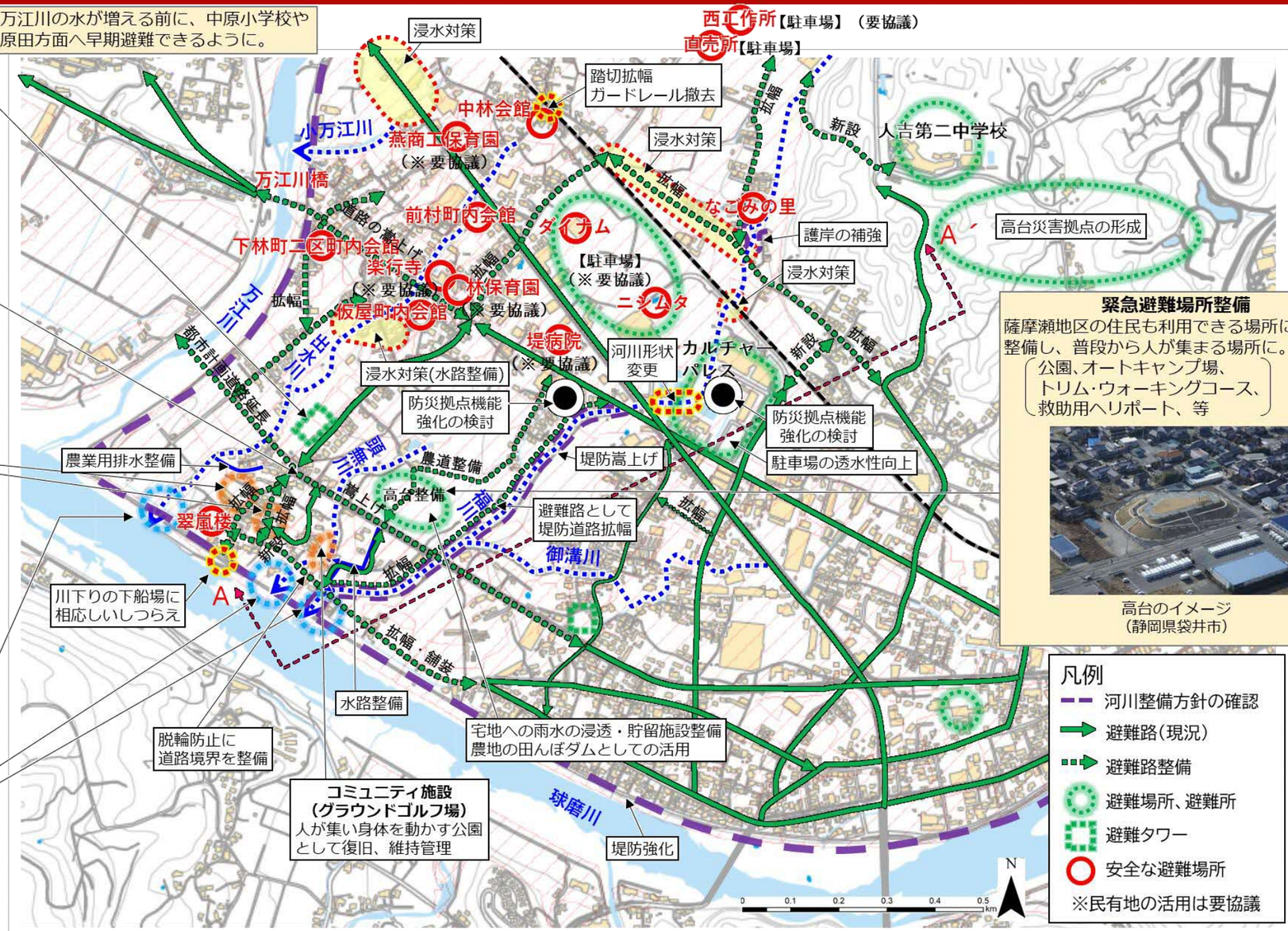
頭無川雨水ポンプ場

空き地の管理や樹木・植栽の手入れ等ができる仕組みを、協定や条例を制定してルール化。

空き地バンクのような仕組み構築。
空き地を市が嵩上げして分譲。

川下り下船後に温泉町を散策し、茶屋や休憩所等で一休みできるような仕掛け。

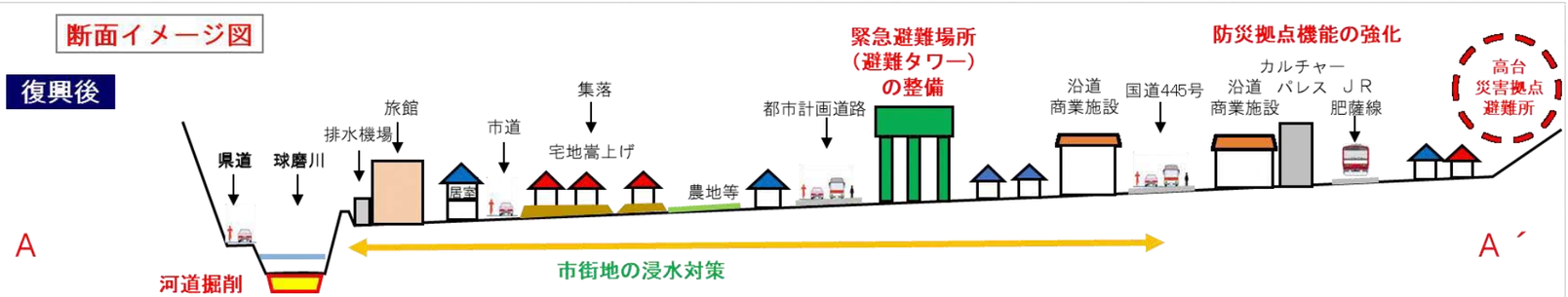
万江川の水が増える前に、中原小学校や原田方面へ早期避難できるように。



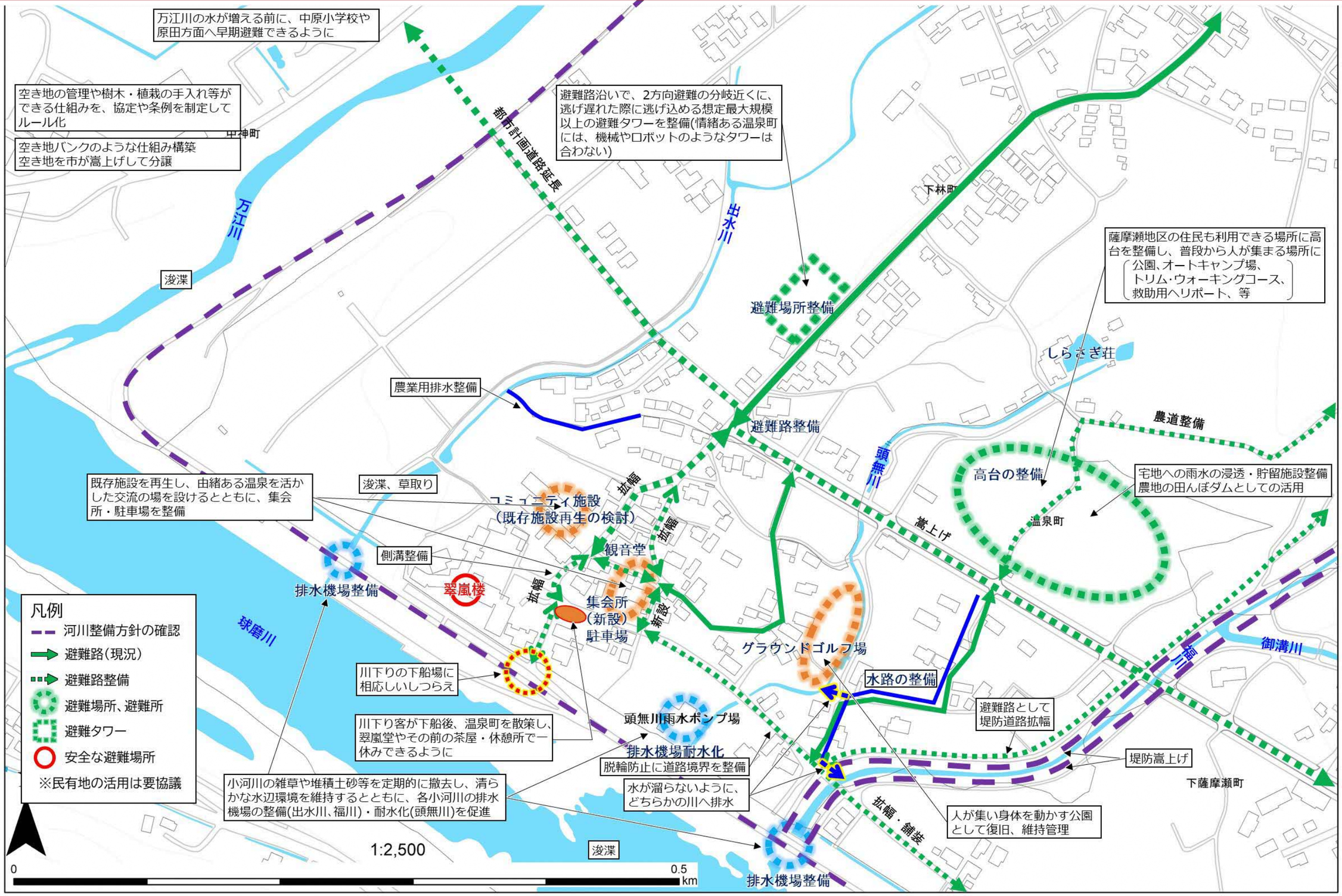
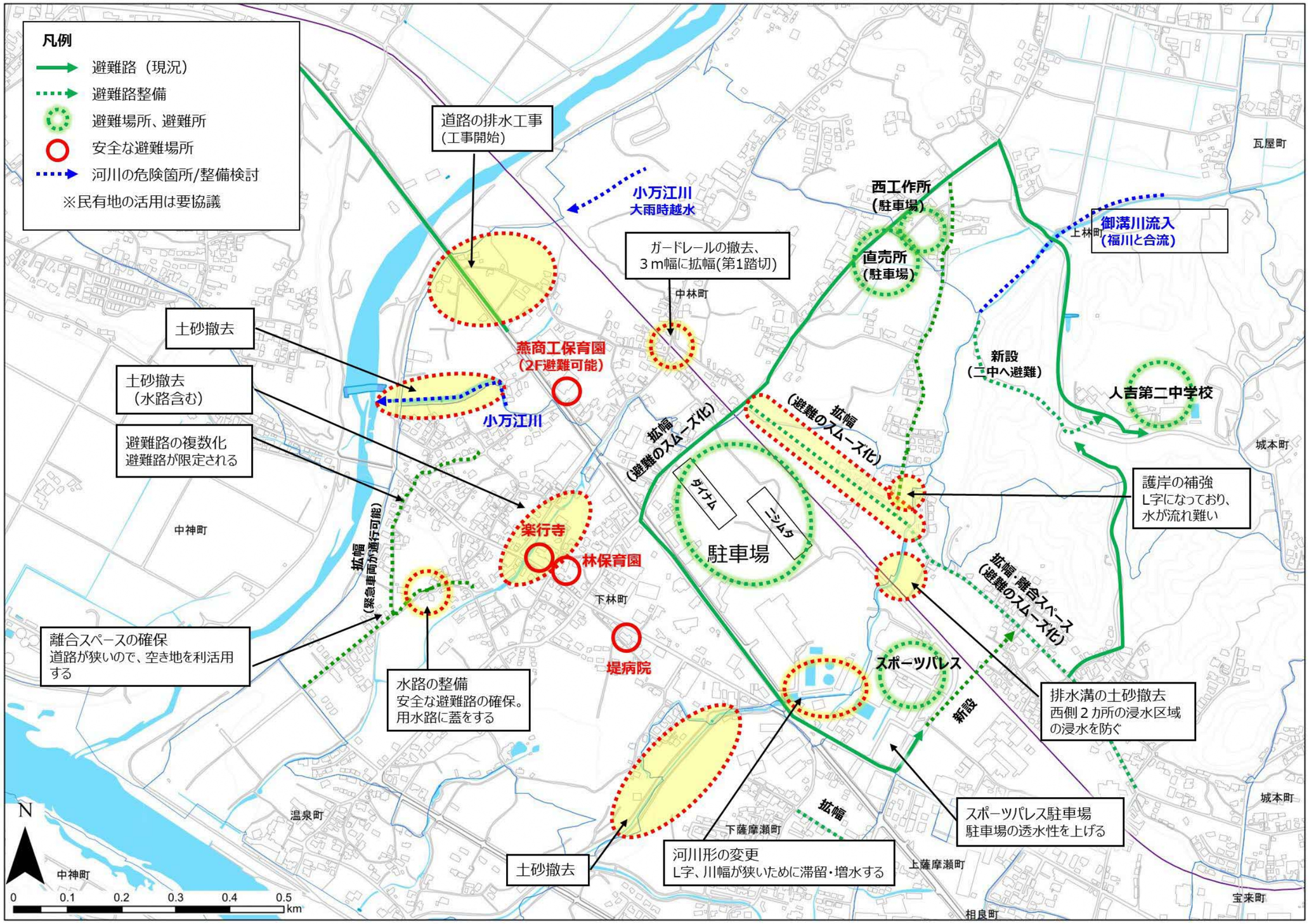
緊急避難場所整備
薩摩瀬地区の住民も利用できる場所に高台を整備し、普段から人が集まる場所に。
（公園、オートキャンプ場、トリム・ウォーキングコース、救助用ヘリポート、等）

高台のイメージ
（静岡県袋井市）

断面イメージ図



温泉下林地区〈温泉町〉 復興まちづくり計画 【地区整備方針・避難ルート図】



温泉下林地区〈下林町・中林町〉 復興まちづくり計画 【地区整備方針・避難ルート図】